

暮らしに希望を HOPE

市政レポート

日本共産党秋田市議団

Tel 888-5413 Fax 866-0998

11月18日(月)

「2025年度予算編成・施策に対する要望」を市へ申し入れ

長引く物価高騰が市民生活を圧迫し、中小零細企業は深刻な危機に直面しています。市民のくらし、福祉、産業を守り、地域経済の発展につながるよう、62項目について要望を申し入れました。



主な項目（要約）

- 物価高騰対策として全世帯を対象にした支援を行うこと
- 農林、中小商工業者へ資材や燃油等の価格高騰分を直接支援すること
- 介護保険料・利用料の負担軽減を行うこと
- 加齢性難聴者のための補聴器購入助成制度を創設すること
- 介護サービスを継続して提供できるようにすること
- 住宅リフォーム制度を継続し、対象拡大と補助額のお引き上げを行うこと
- 学校給食は無償にし、地場産農産物の使用率を高めること

- こまち R への切り替えによって生じるリスクを想定し、追肥が必要となった場合の補助や、価格補償を検討すること
- 子どもの医療費は窓口負担を無くすこと
- 体育館等の特別教室へ冷暖房の設置と、トイレの洋式化を早急にすすめること
- 副教材や教具など備品の補充に十分に配慮されるよう予算を増額すること
- 学童保育の委託費の増額と保育料への助成を行うこと
- 公共交通は小学生以下は無料とし、中・高校生は100円で乗車できるよう補助すること
- 河川の定期的なパトロール、浚渫等の実施、下水道や側溝の点検・清掃など適切な管理を行うこと
- 除雪機の貸し出しは、要望があればオペレーターの配置も行うこと

他・・・

11月29日(金)

議会報告・意見交換会

さとう純子、なら順子議員が報告し、質疑応答では、不登校、学校給食、スタジアム、介護保険、旧学校施設の利活用、公共交通などが話題となりました。皆さんから寄せられた声を活かして頑張ります。



11月定例議会のご案内

11/28~12/23

学校給食無償化と安心・安全な地場産農産物

の活用を求める陳情

署名 6060 筆 集まる



25日、議会事務局へ署名とともに陳情書を提出する実行委員会のみなさん

学校給食無償化の陳情は教育産業委員会で審査されます。他にも、健康保険証廃止の中止に関する意見書を求める陳情も提出されており、厚生委員会で審査されます。ぜひ、傍聴にお越しください。

厚生委員会・建設委員会 12月13日(金)

教育産業委員会・総務委員会 12月16日(月)